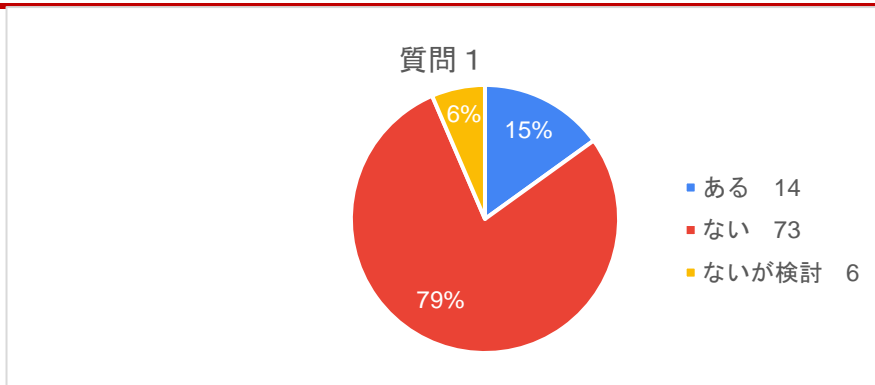


回答数 93自治体 (うち都道府県庁からの返答: 12、市区町村: 81)

19都道府県 / 地域別 (北海道・東北:5, 関東:3, 東海・北陸:5, 近畿:1, 中国:1, 四国:1, 九州:3)

質問1. 公共調達に森林認証、あるいは持続可能に管理された材や紙を調達する方針は策定されていますか？



質問1で「ある」の場合は記述内容・参照URLを教えてください。「ない」の場合、理由を記載ください

[ある]

自治体の調達方針、地域材利用推進方針で森林認証材を明記している: 5自治体

自治体のグリーン購入方針等により、環境に配慮した製品であること、それに努めることを言及 x 7自治体

「地域材利用推進方針」で合法・持続可能性が証明されていることを記述、その木材を使用条件・優先 x 2自治体

[可能性あり]

認証材調達の意識あり・心がけている・認証紙の使用のみ、木材利用促進方針のみ、他分野での調達方針のみ x 8自治体
県独自の認証制度を活用しているため。

制度について研究中

[ない]

林業に関する課題 (13自治体)

認証取得森林面積が少ない (把握なし)

森林事業者が少ない

域内に適した森林がない

流通材が少ない

製材工場がない

量の確保が困難、材のコストが高い

林業経営者が不在

方針や需要に関する課題 (14自治体)

方針の策定の必要性や需要がない、需要高くない

活用が難しい、もしくは不明

認証材や公共調達に関する課題 (4自治体)

持続可能に管理された材の使用予定なし

認証制度活用の見込みなし

公共調達方針の検討をしていない

森林認証に関する認知不足 (9自治体)

森林認証を知らない、普及していない

認証取得自治体が少ない

認証材利用のメリットを感じない

認知されていない

組織や人材に関する課題 (4自治体)

他業務等による人材不足

組織内でコストや意義などの合意ができていない

その他の理由

価格や品質を優先し、ケースバイケースで対応しているため

法的な規定がないため

以前より策定していないため

特に理由無し、わからない、不明、予定なし x 12自治体

質問2. 森林認証を取得した背景、目的等

持続可能な森林管理の推進

森林資源の循環利用を一層進め、持続可能な森林資源の管理経営を行うことを目的。

持続的な森林管理を目指して、地域で広域的に取得する計画があったから

地域林業・経済の活性化

地域材のブランド化、地域林業・経済の安定と活性化、付加価値、他地域との連携で地元の安定 (x9自治体)。

グループで推進し、地域の森林管理レベル向上、持続可能な森林管理経営の実現、産出認証林産物のCoC確立。

森林認証協議会に加盟しているため、グループで地域材の促進 (x10自治体)。

同程度の価格で比較検討された場合に競争力を高めるため (特にスギ材)。

認証取得の背景と動機

道有林や国有林が認証を取得した。

民有林所有者から認証材の付加価値の要望が出てきた。

公共施設の新設がきっかけで認証申請を決断。

認証取得の目的と意義

認証を受け広く国民・県民にアピールすることで、県として森林・林業の優位性を保つ。

東京五輪の調達基準で森林認証材が指定され、県産材供給とPRを目的とする。

認証がなく材が提供できなかった (x5自治体)。

世界自然遺産登録地域で、持続可能な森林管理を実施していることを証明するため。

認証を受けた森林管理を通じて、生物多様性の保全と地域経済の活性化を図るため。

木材の品質・信頼性の向上

木材の信頼性の確保。

木材流通を担う木材センターのためのCoC取得。

取得に関しては検討中

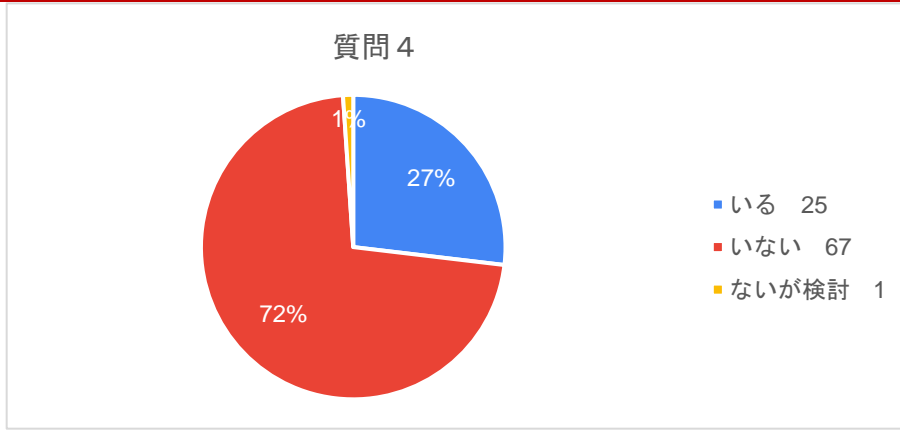
取得していない、必要ない x 56自治体

森林認証制度を策定していない

質問3. 域内SGEC-FM認証林,SGEC/PEFC CoC取得の状況

・ 認証取得自治体：34、未取得59 (個別データは割愛)

質問4. 森林認証の周知・認証材供給促進・需要拡大の為のサプライチェーン構築等取組推進している？



質問4で「いる」場合、取組内容、「いない」場合、できない・やらない理由、取組の障害となっていること

[いる]

地域での連携・普及活動あれこれ

地域関係者との連携、検討会の開催、取引先開拓を重点的に **×5自治体**

自治体のHPで取り組みを紹介 **×3自治体**

イベント出展、パネル展開催してパネルを展示 **×3自治体**

セミナー（含オンライン）、勉強会、イベント開催・参加による周知、認証について記載、認証材のPR **×5自治体**

広報誌で周知 **×3自治体**

市町村や森林組合の森林認証取得に向けた調整

公共施設における情報発信

名刺のロゴマークを記載し、周知

認証材の販売・供給体制

認証材を市場で売買する際に、認証材と明記し、SGEC認証書を添付 **×2自治体**

「森林認証材の施業及び森林認証材の販売に係る協定」締結による認証原木の安定供給体制の構築

原木取引に関する協定を締結し、原木の種類及び数量に関する計画を定めている。

営業活動・プレゼンテーション

首都圏のイベントに参加

参画団体での定期的なプレゼン及び企業訪問等による営業活動

協議会で取り組んでいる、グループ認証の面積拡大、グループ事務局が認証材の周知 **×3自治体**

認証材の活用促進

認証材への認証看板設置

地域産認証材を使用した場合、持家奨励樹を交付

町内に毎年建設される戸建住宅についてプロジェクト認証を受けている。

[いない]

森林認証に対する認識や必要性の不足

必要性を感じない、メリットが明確でない (**×4自治体**)。

森林認証制度について知らなかった、理解が浸透していない、周知が必要 (**×8自治体**)。

森林認証を取得していない、検討していない、活用見込みなし、認証による需給増減となるか不明のため (**×14自治体**)

森林認証材の需要がないため (**×2自治体**)。

認証材の流通や供給体制の問題

認証材の分別管理が手間で一般材が区分されず流通する、CoC認証取得工務店も無い・積極的でない組織もある

→ 認証材から製品、消費者までのチェーンが切れ供給体制が整っていない (**×2自治体**)。

森林や林業に関する課題

林業があまり盛んではない、市町内に森林や林業業者が少ない・いない (**×6自治体**)。

国有林が多い、町営林しかない、木材を加工販売していない、森林が特別史跡である（×4自治体）。

制度や運営体制の未整備

森林認証制度を策定していない。

地域産材認証制度により認証木材の利用推進を図っているため。

人材や予算の不足

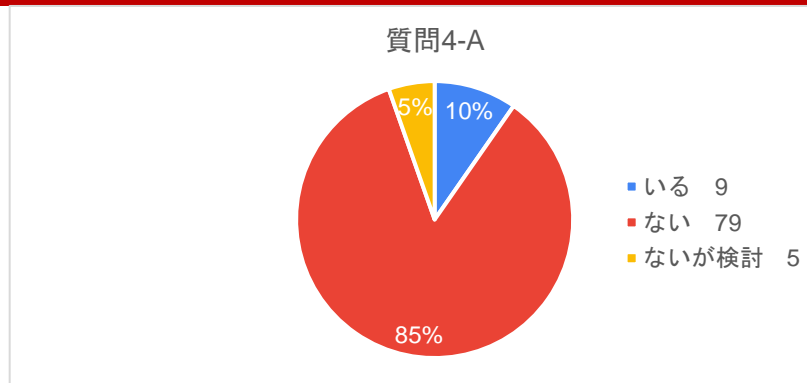
人手不足のため（×4自治体）。

林業や導入の専門知識をもつ職員・人材の不在、不足、進めるノウハウがない、予算がない（×5自治体）。

その他の理由

該当なし、検討もしていない、特に理由なし、不明（×18自治体）。

質問4-A：認証取得や活用への補助金制度は整備されていますか？



4-Aで「いる」場合、具体数や実例などあれば教えて下さい。「いない」場合は理由を

[いる]

認証取得・維持審査に要する認証審査費用を支援する補助金 ×4自治体（うち1自治体では累計34事業者が活用）

住宅のプロジェクト認証取得費用について町が補助

森林認証材使用で家を建てた場合の補助制度

認証材の伐採系の作業時に国の補助金に上乗せの補助を実施

協議会でセミナー等を開催

協議会への費用は負担している

今後、他市町の事例等を参考にしながら調査・研究をしていく

市町村等からの要望を聞き取った上で今後検討

認証維持審査費用の補助は固定費となるので補助金創設が難しいが、新規取得、認証材活用への補助は検討している。

[いない]

森林認証に関する知識・需要の不足

森林認証の知識・認識の不足、普及していない（×5自治体）。

必要性がない、高くない、あれば検討したい（×8自治体）。

森林認証材の需要がないため。

森林認証を取得していない、予定もない、取得意向のある自治体等がほぼないため必要性なし（×10自治体）。

制度の詳細を把握していないため。

制度や運営体制の未整備

森林認証制度を策定していないため。

制度を整備していない、方針を定めていないから（×3自治体）。

導入にかかるコストや運営面の検証ができない、具体的にどう進めて良いのか不明（×2自治体）。

地域の森林資源や管理に関する課題

森林面積（含人工林）、林業利用可能な森林がない、森林事業者が少ない・いないため（×5自治体）。

林業経営者が不在、森林のほとんどが特別史跡であるため。

町内の民有林のほぼ全域で森林認証を取得済みのため。

予算や補助金に関する課題

補助金の要望、需要、相談があるものの、該当案件や予算がない、該当補助金がないため（×15自治体）。

認証を取得しようとする団体への助成は終了。

その他の理由や状況

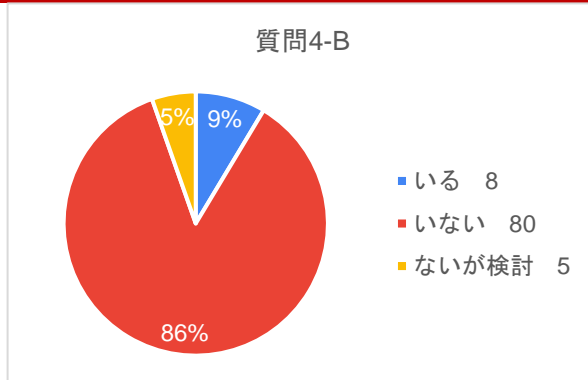
原木を売っているため。

認証材の分別管理について、限られた土場での仕分けが障害で、認証取得への活用を推進しきれていない。

活用する段階にない。

検討もしていない、特に理由なし、不明（×22自治体）

質問4-B：公共物件への入札条件・推奨に「森林認証/持続可能に管理された材」を明記していますか？



4-Bで「いる」の場合、具体数、実例など教えて下さい。「いない」場合は理由を

[いる]

認証材の流通を促進するため、CoC認証を取得した**林業事業体限定の立木販売**を実施

『SGEC認証材利用促進取組方針』を策定、公共工事への認証材の優先的使用

防災備蓄施設 役場庁舎・公民館・子育て総合センターなどに 町産材を使用

火葬場建設工事

町有林の公共物件契約書へ明記

町有林間伐材・皆伐材売払い 4件

東京都環境物品等調達方針

「使用木製材品証明書」において、「県産材」や「合法木材」を明記。

公共物件へ市産材の採用すらできておらず、市産材・地域材の採用を優先

具体的に明記はされていないが、SGEC認証町有林産材を使用を条件としていた

公共物など建築契約の際、特記事項にて推奨で記載している

把握していないが、グリーン購入法に基づいた資材等の調達を行っている

[いない]

必要性や認識の不足

必要性を感じない・高くない、費用対効果がわからない、現行で不自由なし ×8自治体。

森林認証制度についての知識・認識・普及不足 ×10自治体。

検討していない、方針も立てていない、これまでに条件としていない、特に理由なし、不明 ×24自治体。

制度や条件の未整備

森林認証を取得していない、あっても積極的でないため ×5自治体。

森林認証制度を策定していないため。

対応している・認証材を扱っている事業者や、県内で認証森林がない・少ないため ×8自治体。

公共物件への入札条件・推奨が出来る団体ではない。

林野庁補助事業を活用した公共建築物の入札条件・推奨で「森林認証/持続可能に管理された材」の明記はない。

地域独自の取り組みや懸念

地産材証明の明記のみ奨励、県独自の認証制度を活用、認証材については明記なし、**限定は難しい** ×4自治体。

入札条件として厳しくなる、**金額などに影響する懸念**のため ×5自治体。

認証材の流通や供給に関する課題

流通材が少ない、需要に見合う認証材の確保が困難であるため ×2自治体。

材質に変わりがないため。

公共物件における課題や状況

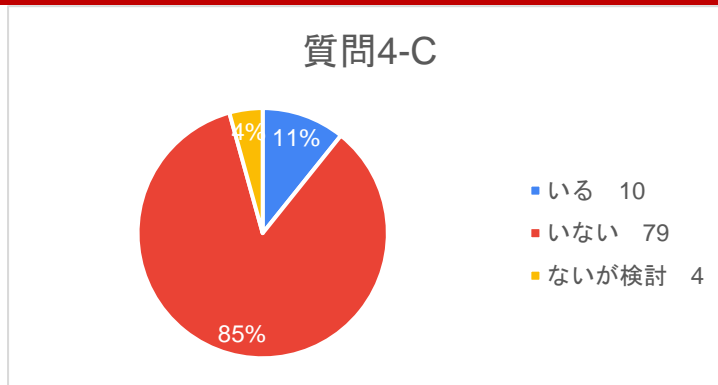
公共物件の案件・実績が無い、入札していない、整備が整っていない ×8自治体。

プロジェクトCoC認証による建築がなかったため。

その他

具体的にどう進めて良いのか不明である。

質問4-C：森林認証取得における森林環境譲与税の活用をしている、あるいは検討していますか？



4-Cで「いる」場合、活用内容を教えて下さい。「いない」場合、理由を

[いる]

審査費用への活用（FSCも含む）

住宅プロジェクト認証の補助

森林認証協議会への負担金の拠出 ×7自治体

[いない]

必要性の欠如・需要がない

必要性を感じない、需要、要請がない ×8自治体

税の目的・使途として、森林経営管理推進以外の余裕・機運なし、民有林振興に負担金以上の補助は不要 ×3自治体

現状では、需要に見合う一定量の認証材の確保が困難であるため

制度・情報の不足

制度の詳細を把握していない、認証取得時に譲与税が創設されていなかった・譲与税を活用できると知らなかった、

当初は**財源の振替使用不可と指示された**、創設前から認証取得しており財源振替による既存事業への充当はせず ×5自治

森林認証について知らない、理解していない、認知されていないため ×5自治体

森林認証制度を策定していないため

具体的にどう進めて良いのか不明である

地域特性による制約

地域内の民有林の多くで既に森林認証を取得済みのため ×2自治体

森林面積、人工林、森林事業者が少ない、林業経営者が不在、事業の予定がない、森林が史跡のため ×5自治体

他の用途に活用するため ×11自治体

経済的・財政的理由

一般財源で予算措置済みのため

森林環境譲与税を活用した木材利用にそうした方針が必須となっていないため

人的資源・能力の不足

人材不足のため取得しておらず、事務執行が困難なため

譲与税の活用が出来る団体ではない

その他の理由

森林認証取得を積極的に行っていないため

森林認証を取得していない、活用見込みがない、検討もしていないため ×10自治体

協議会の取組み（グループ認証）であるため

県独自の認証制度を活用しているため

森林の伐採を行っていないため

木造建築物の設置の検討中のため

理由なし、不明 ×19自治体

質問5. 域内事業者による、認証材活用事例がありましたら教えてください

学校、消防署詰所、公園広場、学校部室、保育園、学生寮、倉庫等に使用。

プロジェクトCoC全体認証：地元小中学校新校舎。町の道有林杉材の神社仏閣への使用

民間・公共住宅に認証材の活用 ×3自治体（うち1自治体はプロジェクト認証で森林組合がプロジェクトリーダー）

道の駅複合施設においてプロジェクト認証取得

農業協同組合本店・支店建設

公共施設等への認証材の活用 ×2自治体

森林組合連合会でFM・CoCを取得、取得事業者から原木を受入れ、認証材・加工製品を納めている。

地元の協議会から東京五輪の建築物への認証材を提供した

建材商社ブランドへ地域認証木を採用、認証合板としてラベリング。

国内初SGEC認証DLT家具の商品開発（モクコレでお披露目）林野庁補助事業活用

町村の役場庁舎 ×2自治体

町で婚姻届を提出した方に、町内工場で作製した認証材の婚姻フレームを

県の伝統工芸である塗箸を材料として活用し、国内外へ販売

非住宅木造建築で活用実績

域内事業者がない。

検討中

活用事例なし、把握していない、検討もしていない、特に必要ない ×78自治体

質問6. 今後、地域活性化に森林認証を活かしていくために必要と考えていることを教えてください。

[周知・認知の向上に関連]

森林認証の周知と推進、認知度向上、一般消費者へも ×13自治体

森林認証の必要性、重要性、意義の説明と明確化 ×4自治体

事業者、土地所有者、市民などへの周知・啓発

認証制度の普及啓発に取り組みたいと考える。各種イベントや展示会での啓発物品の配布など。

[認証材の価値向上と需要促進に関連]

森林認証材の需要、価格面での優位性が必要 ×2自治体

認証材の認知度、付加価値、メリットの確立と拡大、ブランド化、価格などにインセンティブ、補助金 ×14自治体。

価格面で有利となるようなサプライチェーンの構築。

[地域活性化と持続可能性に関連]

認証材の地産地消・外消により地域内でお金が循環していく仕組みを構築すること

地域材の活用推進に、金額だけの優先ではなく環境負荷(CO2排出量など)なども考慮の基準の設定が必要では

森林認証制度の取り組みについて検討したい。

原料供給者と最終製品提供者・需要者が連携、協力し流通経路を築く、認証材の安定供給に森林所有者と施業計画や時期の調整 ×3自治体

公共事業等により地域で認証材を活用し、付加価値を高める、事例をPRする ×2自治体

[制度の改善と利用促進に関連]

認証条件、手続きの簡略化、コスト高の緩和でより多くが取得できるように ×4自治体。

PR、認証制度事務局からも ×2自治体

SDG s との整合性。

法律にて、森林認証材を使用した場合の優遇策、公共建築等の木材利用を認証材優先に ×2自治体

認証材を必要としている企業とのマッチング

森林認証の知識の分かり易い説明が必要 ×3自治体

森林認証に係る方針の検討等。

[その他]

森林林業ビジョンを策定後、森林認証制度の取り組みについて検討したい。

企画段階における専門のアドバイザーが必要ではないか

クリーンウッド法と相まって、森林認証材＝合法木材の普及を。

町として、森林認証制度の策定することが必要だと思う。

林業が盛んでない地域は難しい、林業従事者が必要 ×2自治体

特になし、担当部署もない、必要ない ×39自治体

以上